

株主メモ Shareholder Information

株式のご案内

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会の議決権 毎年3月31日 期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して 定めます。
公告方法	電子公告により当社ホームページに掲載いた します。 ただし、事故その他やむを得ない事由によって 電子公告をすることができない場合は、日本 経済新聞に掲載いたします。
株主名簿管理人および 特別口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
各種お問い合わせ先	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
単元株式数	100株
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部

(注)単元株式数の変更と株式併合について

全国証券取引所は、投資家の利便性向上を目的にすべての国内上場会社の普通株式の売買単位を100株に統一することを目指しております。当社はこの趣旨を尊重し、平成29年10月1日をもって当社普通株式の単元株式数を1,000株から100株に変更し併せて10株を1株に併合いたしました。

お知らせ

●住所変更、単元未満株式の買取等のお申し出先について
株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

中越パルプ工業株式会社

東京本社 東京都中央区銀座2-10-6 Tel 03-3544-1524
高岡本社 富山県高岡市米島282 Tel 0766-26-2401

ホームページのご案内

<http://www.chuetsu-pulp.co.jp/>

当社ホームページに最新トピックスのほか、IR情報を随時発信し、ご提供しております。



用紙

国産の竹を原料とした紙「竹紙 100 ナチュラル 100g/m²」を使用しております。



表紙

五箇山・相倉合掌造り集落

中越パルプ工業株式会社

証券コード:3877



Chuetsu Pulp & Paper Co., Ltd.

株主の皆様へ
「ひと・もの・心」を大切に



経営理念 Management Concept

私達中越パルプ工業グループは、グローバル化していく経済環境の中で、永続的に発展していくため、ひたむきに人を大切にしたものづくりに努め、国際競争を勝ち抜く強い企業創りを目指します。

一、愛され信頼される企業に

コンプライアンスに徹し真摯で誠実な企業活動を基本とし、品質を第一に弛まざる技術革新により常に顧客満足を希求するとともに、地域社会との共存共栄を図り、誰からも愛され信頼される企業を目指して努力を続けてまいります。

二、環境と社会に貢献する企業に

私たちは、省資源や省エネルギーの取り組みを継続し、リサイクル資源の有効活用に努め、地球環境に配慮した生産活動を通じて循環型社会の確立、豊かな文化社会の発展に貢献するとともに、社会の様々なニーズに積極的に対応して、安定的により良い製品とサービスを提供します。

三、向上心あふれる働き甲斐のある会社に

エネルギーに革新に取り組み、不撓不屈の精神であらゆる困難にも果敢に立ち向かい、会社の明るい未来のために全ての社員が力を合わせ、国際競争を勝ち抜く収益性、健全性を備えた働き甲斐のある会社をつくりまします。

Contents

● 経営理念	1	● セグメントの概要	7
● トップインタビュー	2	● 連結決算概要	8
● トピックス セルロース・ナノファイバー生産設備稼働	5	● 会社概要	9
高級白板紙抄紙機 営業運転開始	6	● 株式の概況	10

トップインタビュー Top Interview



「ネクストステージ50」効果を最大限に活用し、さらなる成長へ

株主の皆様には平素より多大なるご支援を賜り厚く御礼申し上げます。



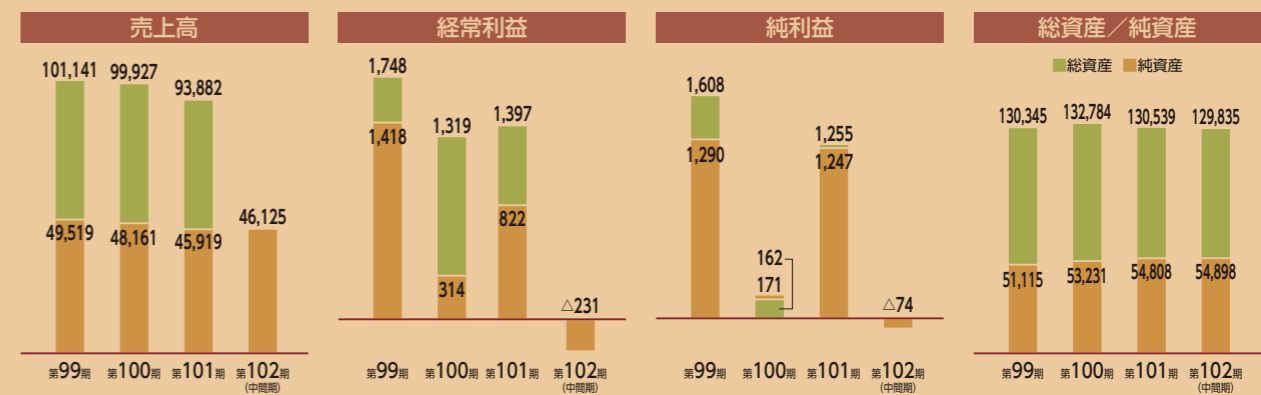
代表取締役社長 **加藤 明美**

Q 当中間期の状況と営業成績についてご説明ください。

A 紙・パルプの生産販売につきましては、国内の市場回復が見込まれないなか、既存顧客への拡販や新規需要の開拓に注力してまいりました。

当社の主力製品である印刷用紙、新聞用紙などの情報用紙につきましては、電子媒体へのシフトが進んだことにより売り上

● 連結業績推移 通期 中間期 (単位:百万円) Consolidated Financial Highlights



げが減少いたしました。パルプ市況の回復に伴い外販用パルプの売り上げが増加したことにより増収となりました。

つぎに発電事業につきましては、川内工場木質バイオマス燃料発電設備、唐浜メガソーラー発電所の安定した操業により売り上げを確保いたしました。本年7月、二塚製造部の送受電設備の故障に伴い電力販売を停止したことにより減収となりました。

その結果、当中間期につきましては、売り上げは前年を上回りましたが、新聞古紙価格の急騰や電力販売の減少などの影響により、大幅な減益となりました。

Q 当期の見込みについてお伺いします。

A 製品価格の改定は決着いたしました。取り巻く環境につきましては中間期同様、厳しい状況が続くことが予想されます。

そのなかで、引き続き地道な営業活動による需要の獲得を図るとともに、コスト削減、安定操業に努め、その効果を最大限享受できるように取り組んでまいります。

発電設備のトラブルの影響や新聞古紙価格の変動など、収益悪化の要因が払拭されない状況下に

ありますが、グループ丸となって、それぞれの役割を存分に果たし、収益を確保するべく取り組んでまいります。

Q 「ネクストステージ50」は最終局面ですが、これまでの進捗と課題をお伺いします。

A 既存事業における抜本的な構造改革や、新規事業分野進出のための大型投資の着手など収益基盤の構築に取り組んでまいりました。

また王子グループとの業務・資本提携のなかで、高級白板紙生産、輸入チップ調達、製袋事業分野での共同出資事業など新たな展開を迎えながら計画は着実に進んできた実感しています。

「パルプ高度利用化計画」の取り組みにつきましては、セルロース・ナノファイバー商業プラントが6月に稼働し、生産拡大に向けた取り組みを進めております。

なお先般公表いたしました樹脂化の設備につきましては、9月に稼働を開始しております。

「生産品種の構造転換」の取り組みにつきましては、王子グループと共同出資したO&Cアイボリーボード株式会社10号マシンが10月より営業運転を開始しました。

「エネルギー事業参入」の取り組みにつきましては、川内工場木質バイオマス燃料発電設備を主軸として、現在まで順調に稼働しており、収益基盤の根幹として効果を発現しております。



● 「ネクストステージ50」コスト削減実績

最終目標額(年間)		平成25年度~29年度第2四半期累計	
①パルプコスト	10	①パルプコスト	14
②エネルギーコスト	5	②エネルギーコスト	7
③抄紙コスト	2	③抄紙コスト	6
④固定費他	8	④固定費他	2
⑤関係会社	10	⑤関係会社	3
合計	35億円	合計	32億円

達成率 91%

また、「コスト削減」の取り組みにつきましては、年間35億円の目標に対して当中間期で年間32億円、当期末で年間36億円を達成する見通しです。

「製袋事業の発展強化」の取り組みにつきましては、引き続き、王子グループと共同して、国内の事業基盤の再構築を進めるとともに、アジア圏でのさらなる発展強化に取り組んでまいります。

Q 株主の皆様へメッセージをお願いします。

A 当社グループは、「ネクストステージ50」で培った経営資源を最大限に活用して、収益確保と強い企業体質の構築を推し進め、さらなる成長を目指してまいります。

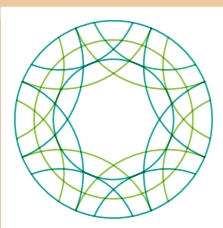
株主の皆様のご期待に応えるとともに、経営理念に掲げる「愛され信頼される企業」となるべく尽力してまいりますので、より一層のご理解とご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

1. セルロース・ナノファイバー生産設備稼働

セルロース・ナノファイバーは、木、草などの植物を構成する細胞の主成分セルロースを髪の毛の1万分の1程度の細さに微細化した繊維です。当社は水の力だけを利用した独自の製法でセルロース・ナノファイバーを製造しています。

化学薬品を使用しないこと、また原料となる素材も、持続的に再生可能な木材、竹などの天然資源に由来していることから、ひと・環境にやさしいことが最大の特徴です。

この自然の恵みから生まれた小さな素材が私たちの日々の暮らしをもっと豊かに出来るよう、様々な可能性に挑戦を続けています。



nanoforest®
(ナノフォレスト)

ナノフォレストとは、極微小なサイズを意味する「nano(ナノ)」と天然の森林を意味する「forest(フォレスト)」を合わせた当社製セルロース・ナノファイバーの製品名です。

第一期商業プラント概要

設置場所	川内工場 (鹿児島県薩摩川内市)
稼働	平成29年6月
生産量	年間100t



第一期商業プラント(建屋外観)

ナノフォレストは音響機器、家電、医療分野での応用をはじめ、自動車部材、産業用資材など多岐にわたる分野での可能性を持った夢の素材です。



提供: オンキヨー株式会社



提供: 日本資材株式会社

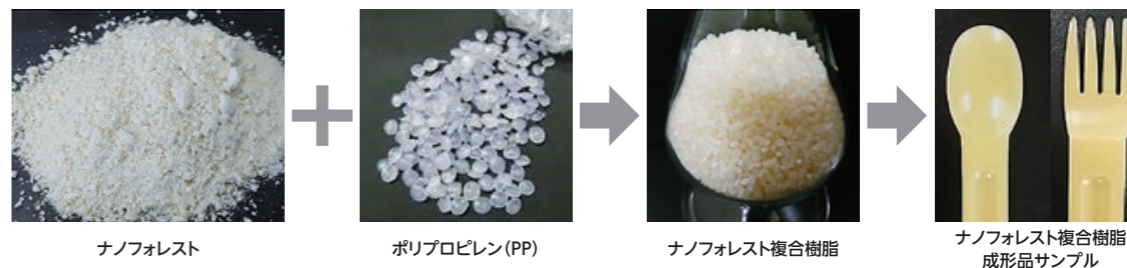


共同研究: 東北大学大学院歯学研究科
加工: 和田精密歯研株式会社 提供: 有限会社ナミテック

セルロース・ナノファイバー樹脂化について

ナノフォレストを配合した複合樹脂はこれまでにない新しいプラスチック素材で、強度の向上や印刷のしやすさなどの特性が期待されます。

▶樹脂化イメージ プラスチックに簡単に混ざるようにしたセルロース・ナノファイバーです。



2. 高級白板紙抄紙機 営業運転開始

O&Cアイボリーボード株式会社10号マシンは、10月より営業運転を開始しました。また本マシンの稼働とともに、高級白板紙の新ブランド「ベルグブラウス-T」の販売を開始しました。従来品をベースに、白さ、光沢を高めた高品質の製品で、カレンダーをはじめ、パッケージなどの包装材、カタログなど皆様の身近にある紙製品に使用されます。

新製品をはじめとする高級白板紙の販売をスタートに、紙カップなど食品容器分野の製品につきましても、順次品質確立を行い、市場に投入してまいります。



高級白板紙生産設備(建屋および抄紙機外観)



製品紹介見本

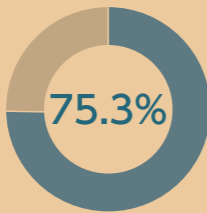
ベルグブラウス-T

冬の白い雷鳥をイメージし、ベル(美しい)ブラウス(雷鳥)と名付けました。※フランス語

製品使用例(カレンダー用紙)



紙・パルプ製造事業

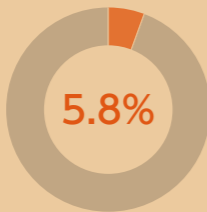


連結売上高 40,541百万円 (前年同期比 0.3%増)
連結営業損失 1,091百万円 (前年同期は62百万円の連結営業損失)

新聞用紙の需要減、電子媒体へのシフトによる印刷用紙の市況低迷の影響により、紙の売り上げは減少しましたが、中国をはじめアジア市場でのパルプ市況の回復に伴い輸出パルプの販売が増加した結果、売上高は増加しました。
 また、新聞古紙価格の高騰による原料コストの悪化などの影響により営業損失は1,091百万円となりました。



発電事業

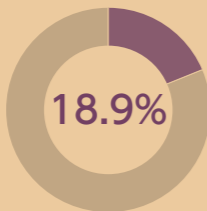


連結売上高 3,117百万円 (前年同期比 5.4%減)
連結営業利益 709百万円 (前年同期比 12.3%減)

川内工場木質バイオマス燃料発電設備、唐浜メガソーラー発電所は計画どおり順調に稼働しましたが、本年7月、生産本部二塚製造部において送受電設備が故障し、売電事業が停止したことにより減収減益となりました。



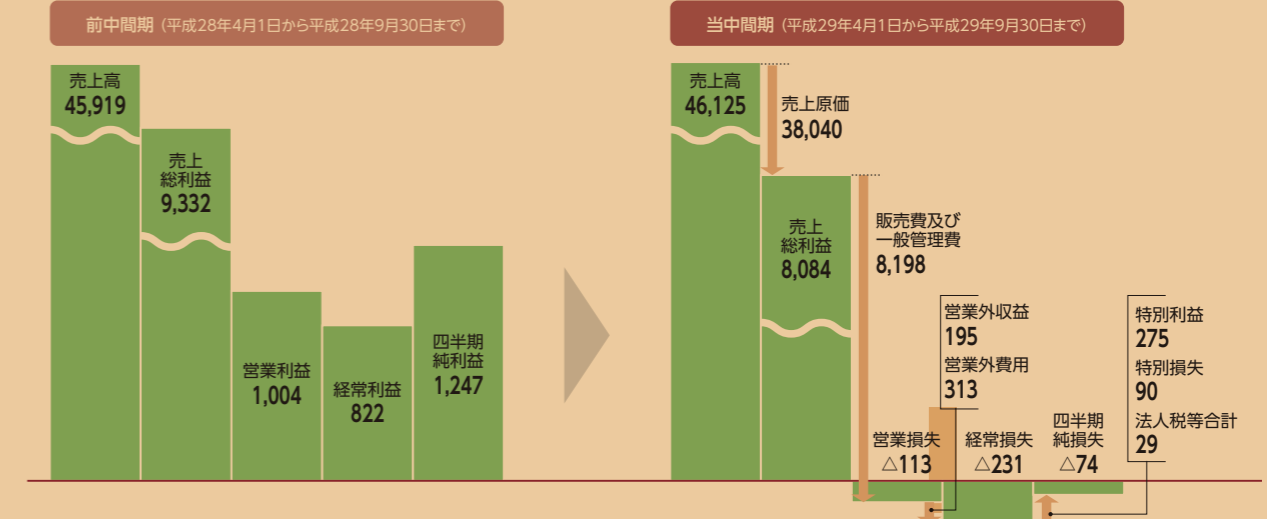
その他の事業



連結売上高 10,186百万円 (前年同期比 1.4%増)
連結営業利益 232百万円 (前年同期比 6.4%増)

建設事業につきましては、公共工事を主とした外部工事の受注が増加して増収増益となりました。
 また紙断裁選別事業・運送事業につきましても、工場の操業度が向上したことにより増収増益となりました。

● 連結損益計算書の概要 (単位:百万円)



● 連結貸借対照表の概要 (単位:百万円)

項目	前期末 (平成29年3月31日現在)	当中間期末 (平成29年9月30日現在)	前期末 (平成29年3月31日現在)	当中間期末 (平成29年9月30日現在)
資産合計	130,539	129,835	負債純資産合計	130,539
流動資産	45,807	43,350	負債	74,937
固定資産	84,732	86,485	純資産	54,898

● 連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (単位:百万円)

科目	前中間期 (平成28年4月1日から平成28年9月30日まで)	当中間期 (平成29年4月1日から平成29年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,580	3,748
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,495	△4,741
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,561	△1,827
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2	△0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△479	△2,820
現金及び現金同等物の期首残高	6,624	6,365
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△15	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,129	3,545

会社概要 (平成29年9月30日現在)

商号 中越パルプ工業株式会社
 本店所在地 東京都中央区銀座二丁目10番6号
 創業 昭和22年2月
 資本金 18,864百万円
 グループ従業員 1,460名
 主要な事業内容 ◎パルプ・印刷用紙・新聞用紙・包装用紙・
 特殊紙・高級板紙および古紙入り再生紙、
 竹紙等の製造ならびに販売

役員 (平成29年9月30日現在)

取締役(監査等委員である取締役を除く。)
 代表取締役社長 加藤 明美 取締役 三浦 新
 専務取締役 植松 久 取締役 地蔵 繁樹
 常務取締役 楠原 勝市 取締役 大島 忠司
※各取締役(監査等委員である取締役を除く。)は、執行役員を兼務。

監査等委員である取締役
 取締役 常任監査等委員(常勤) 小林 敬
 社外取締役 監査等委員 杉島 光一
 社外取締役 監査等委員 山口 敏彦

グループ拠点 (平成29年9月30日現在)

事業所

- ① 東京本社
- ② 高岡本社
- ③ 大阪営業支社
- ④ 名古屋営業所
- ⑤ 福岡営業所
- ⑥ 北陸営業所
- ⑦ 川内工場
- ⑧ 高岡工場
- ⑨ 生産本部 二塚製造部

紙・パルプ製造事業

- ⑩ 三善製紙株式会社

その他の事業

- ⑪ 株式会社文運堂
- ⑫ 中越緑化株式会社
- ⑬ 中越物産株式会社
- ⑭ 中越ロジスティクス株式会社
- ⑮ 中越テクノ株式会社
- ⑯ 共友商事株式会社

持分法適用関連会社

- ⑰ 中越パッケージ株式会社
- ⑱ 中部紙工株式会社
- ⑲ 王子製袋株式会社
- ⑳ 上海東王子包装有限公司
- ㉑ 王子包装(上海)有限公司
- ㉒ 王子製袋(青島)有限公司
- ㉓ Japan Paper Technology(Viet Nam)Co.,Ltd.
- ㉔ Japan Paper Technology Dong Nai(VN)Co.,Ltd.

その他関係会社

- ㉕ O&Cアイボリーボード株式会社 徳島工場
- ㉖ O&Cファイバートレーディング株式会社
- ㉗ O&Cペーパーバッグホールディングス株式会社



株式の状況 (平成29年9月30日現在)

発行可能株式総数 450,000,000株
 発行済株式の総数 133,546,883株
 株主数 9,870名

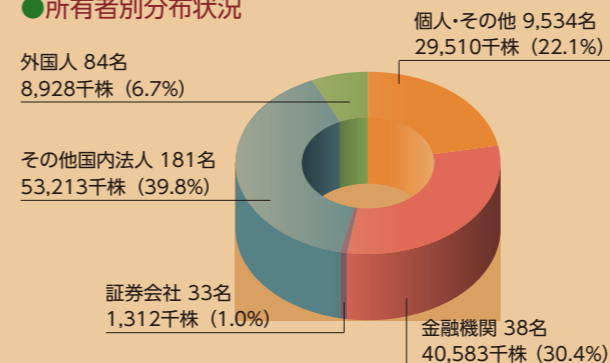
(注)平成29年6月28日開催の第101期定時株主総会決議により、平成29年10月1日付で普通株式10株を1株とする株式併合を実施しました。これにより、発行可能株式総数は405,000,000株減少し、45,000,000株となり、発行済株式総数は120,192,195株減少し、13,354,688株となっております。

●大株主の構成

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
王子ホールディングス株式会社	27,539	20.62
日本紙パルプ商事株式会社	7,106	5.32
株式会社北陸銀行	5,735	4.29
新生紙パルプ商事株式会社	5,648	4.22
国際紙パルプ商事株式会社	5,341	3.99
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	5,087	3.80
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)	4,123	3.08
株式会社みずほ銀行	4,013	3.00
農林中央金庫	4,013	3.00
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	2,714	2.03

(注)千株未満は切り捨てて表示しております。

●所有者別分布状況



第101期定時株主総会における
議決権行使の集計結果に関するお知らせ

1. 議決権の状況

議決権を有する株主数 8,037名
 議決権の数 133,112個

2. 議決権行使状況

	株主総会前日 までの議決権行使 (事前行使)	株主総会 当日出席による 議決権行使	議決権行使 合計
株主数	2,695名	113名	2,808名
議決権行使個数	84,203個	29,328個	113,531個
行使率	63.3%	22.0%	85.3%

3. 議決権行使結果

	賛成数	反対数	棄権数	賛成比率
第1号議案 剰余金の処分の件	111,630個	149個	0個	98.33%
第2号議案 株式併合の件	111,561個	218個	0個	98.26%
第3号議案 取締役(監査等委員である取締役を除く。)6名選任の件				
①加藤 明美	105,387個	6,392個	0個	92.83%
②植松 久	107,438個	4,341個	0個	94.63%
③楠原 勝市	107,458個	4,321個	0個	94.65%
④三浦 新	109,864個	1,915個	0個	96.77%
⑤地蔵 繁樹	109,864個	1,915個	0個	96.77%
⑥大島 忠司	110,098個	1,681個	0個	96.98%

賛成数は、事前行使における賛成数と当日出席株主から各議案の賛否に関して確認できた賛成数を合計したものです。